

第9章 3. 宗教改革 b. カルヴァンと宗教改革の広がり(2)

[1 フランス]人カルヴァンは 1541 年、[2 スイス]のジュネーブで改革を開始した。かれは[3 聖書]に位置づけのないものは認めないという徹底的な立場をとり、ジュネーブで[4 神権]政治をおこなった。教会においては信者の中から[5 長老]を選び牧師を補佐させる[6 長老]主義をとった。また教義では[7 予定]説をとり、[8 禁欲]的な職業倫理を求めた。

こうした主張は[9 毛織物]業者を初めとする手工業者、中小商人、[10 独立自営]農民といった近代[11 資本]主義の担い手ともいえる各国の中産階級の熱狂的な支持を得た。

c. イギリスの宗教改革

- ①イギリス([12 テューダー]朝)のもとで国王の権威の高まり=絶対主義化
- ②国王[13 ヘンリ8世]、王妃との離婚をめぐる教皇=[14 カトリック教会]と対立
 - ヘンリ7世の子 ↓
 - 1534[15 首長]法を発して、16 イギリス教会をカトリックから分離し王を首長とする独立の教会とする、=イギリス国教会の成立
 - [17 修道院]を廃止、土地・財産を没収し[18 騎士(下層貴族)]身分に分配
 - [19 ジェントリ] (郷紳)身分の勃興とこの身分の国王への忠誠

③エドワード6世…一般祈禱書=教義面でカルヴァン主義を多く採用、カトリックの儀式も残す
→メアリ1世…スペインと結び[20 カトリック復活]をめざす。「血塗れのメアリ」
フェリペ2世と結婚

④[21 エリザベス1世]…1559[22 統一]法を出し[23 イギリス国教会]を確立させる。

- ⑥イギリスの宗教改革の意味…
 - ・[24 教会]組織を国王に従属させ[25 カトリック]の影響を排除=王権の強化が進む。
 - ・かつての[26 騎士]らを[27 ジェントリ]とし地方政治や軍事などの担い手とした。
→宗教改革の結果、王への権力集中 = [28 絶対主義]化がすすんだ。

イギリスでは[29 ばら]戦争後、[30 テューダー]朝のもとで急速に絶対主義化の傾向がすすんだ。国王[31 ヘンリ8世]は王妃との離婚を認めない[32 カトリック教会]と対立、1534年[33 首長]法を出して、イギリスの教会組織を分離してイギリス王を首長とする[34 イギリス国教会]を打ち立て、さらに国内の[35 修道院]を廃止、その土地財産を没収した。この教会はエドワード6世のもとで教義を整備した。しかしあとをついだ[36 メアリ1世]は強引にカトリックの復活を図り混乱を招いたが、[37 エリザベス一世]が発した 1559年の[38 統一]法でこの教会は確立した。教義的にはカルヴァン主義の影響を多くうけている。こうした過程をへて[39 王権]の強化=絶対主義化がすすんだ。

d. 対抗宗教改革

①[40 対抗宗教改革]…宗教改革に対抗した[41 カトリック]教会の教義の明確化と内部革新運動

②[42 トリエント]公会議(1545 ~ 63)

トリエント公会議… 1545 ~ 63 年、宗教改革の進展による[43 プロテスタント]勢力の台頭に対抗すべく開かれた[44 カトリック]派の会議。教会内部の肅正とともに[45 教皇]の至上権を確認し、[46 禁書]、[47 宗教裁判所]※などによる思想統制の強化をきめた。

※宗教裁判の例=[48 ガリレオ]裁判など

③ 1534 イグナティウス=ロヨラ[49 イエズス]会を結成

[50 スペイン・ポルトガル]の海外進出と結び、[51 アジア]や[52 ラテンアメリカ]へ宣教師派遣

- ・[53 フランシスコ=ザビエル]…インド・東南アジアから[54 日本]へカトリックを布教
- ・マテオ=リッチら…[55 中国]へ布教

④宗教的不寛容の時代=各地で[56 宗教戦争]があいつぎ、各地で[57 魔女狩り]が横行

宗教戦争=ユグノー戦争(フランス)・三十年戦争(ドイツ)・オランダ独立・ピューリタン革命(イギリス)

こうした宗教改革に対して[58 カトリック]教会内部では改革と対応策が進んだ。これを[59 対抗宗教改革]という。カトリック教会は 1545 年から[60 トリエント]公会議を開催、教会内部の肅清とともに教皇の[61 至上]権を再確認する一方、各国語訳の聖書などを禁書にし、[62 宗教裁判]で反対派を処罰、地動説を唱えていた[63 ガリレオ=ガリレイ]もその説を棄てることを迫られた。

他方、スペイン貴族[64 イグナティウス=ロヨラ]はカトリック勢力の巻き返しのため[65 イエズス]会を創設、ヨーロッパ各地で攻撃的な布教をすすめる一方、[66 ラテンアメリカ]やアジアへの布教活動を強化した。日本へ始めてキリスト教を伝えた[67 フランシスコ=ザビエル]はこの会の最高幹部の一人であった。

こうしてキリスト教の両派の対立はいっそう緊張、各地で[68 宗教戦争]が発生、各地で[69 魔女狩り]が行われるなど社会的緊張が高まっていった。